

あきらめず、 がんばり続けよう

トーマスは、1週間、家の手伝いをきちんと
やったごほうびとして、円ばん型のおもちゃを
もらいました。そのおもちゃには五つのくぼんだ
穴があって、動かしながら五つのボールを
全部穴にはめて遊ぶゲームになっています。

トーマスは一つのボールなら転がして穴に
はめられるのですが、次の一個を穴に入れようと
して円ばんをかたむけると、最初のボールが
穴から出てしまいます！すると、最初から
またやり直しです。

「こんなの、できっこないよ！」 トーマスは
ベソをかきました。

ちょうどその時、お父さんが来ました。
「どうしたんだい、トーマス？」

「むずかしすぎるんだ！ こんなの、できる
人いないよ！」 トーマスは円ばんゲームを
指差して言いました。



お父さんは笑って、ソファーにすわっている
トーマスのとなりにすわりました。「なあ、
トーマス。むずかしいと思うのはふつう、まだ
練習が足りないからなんだ。」そう言うと、
お父さんはゲーム機を拾い上げて、トーマスの
手に渡しました。「何度でもやってみれば、
きっとやり方が分かってくるさ。初めて自転車に
乗った時のことを、覚えているかい？ その
時は、むずかしすぎて、ぜったいに乗れるように
なんかなれないって言っただろ？」

トーマスは、初めて自転車に乗った1年前の
ことを思い返してみました。転んでばかりだった
けれど、お父さんは何度でもやっごらんって
はげましてくれました。今は、全然転ばないで
自転車に乗れます！「そうだね、覚えてるよ。」
と、トーマス。

「初めて読むことを習い始めた時は、
かんたんだったかい？」



「ううん、最初^{さいしょ}は むずかしかった。」

「だが、勉強^{べんきょう}し続け^{つづ}けたらう。」

「今は、読^{いま}めるよ！」 トーマスが元^{げん}気^きよく
言^いいました。

「わかるかい。最初^{さいしょ}は むずかしそうな ことでも、
あきらめ^わないで がんば^{たいせつ}る ことが 大切^{たいせつ}なんだ。
父^{とう}さんも、おま^{とし}え^{とき}く^{おな}らいの 年^{とし}ご^{とき}ろの 時^{とき}には、同^{おな}じ
こと^{およ}が あ^{だい}ったよ。泳^{およ}ぐの^{だい}が 大^{だい}好^すきだ^すったが、
進^{すす}むの^{すす}が ず^{すす}ごく おそ^{すす}くて^{すす}ね。だ^{すす}から、水^{すい}泳^{えい}チ^{えい}ームに
入^{はい}ること^{はい}さえ でき^{はい}な^{はい}か^{はい}った^{はい}んだ。だ^{はい}が、チ^{はい}ームに
入^{はい}れる^{はい}よ^{はい}う、何^{なん}度^ども 何^{なん}度^ども 練^{れん}習^{しゅう}を 重^{かさ}ね^{かさ}た。
そ^{すい}して^{えい} つ^{えい}い^きょう^{しつ}に 通^{かよ}い^{はじ}め^{いち}めて 1年^{ねん} た^{ねん}って、
や^がっ^{ごう}と 学^が校^{ごう}の 水^{すい}泳^{えい}チ^{えい}ームに 入^{はい}れた^{はい}んだよ。
そ^{いち}れ^どだけ^{すい}じゃ^{えい}ない。一^{いち}度^ど 水^{すい}泳^{えい}大^{たい}会^{かい}で メ^めダ^だル^るを
と^と取^とった こと^とだ^とって あ^とる^とんだ。」

「うわあ、お父^{とう}さん! すご^{すご}い^いね!」

「ああ、だ^{はい}が、も^{はい}し チ^{はい}ームに 入^{はい}る^{はい}のは む^{はい}ず^{はい}か^{はい}し
す^{はい}ぎ^{はい}る^{はい}って あ^{はい}き^{はい}ら^{はい}め^{はい}て^{はい}い^{はい}たら、そ^{はい}れ^{はい}は 起^おこ^おら^おな
か^おった。」



「メダルを ^か ^と 勝ち取ることも なかったんだね。」

「そういう ことだ。この ゲームは、^{つよ} ^{にんげん} 強い 人間に
なるのに ^{やく} ^だ 役立つんだよ。あきらめない ことを
^{おし} 教えてくれるからね。」

トーマスは ゲーム機 ^き ^て ^と を 手に 取りました。
やり方 ^{かた} を マスターできれば、どんなに うれしい
だろう……。そんな ことを ^{かんが} 考えながら、
トーマスは ゆっくりと ボールを ^{ころ} ^{はじ} 転がし始め
ました。最初の ^{さいしよ} ^{いっ} ^こ ^{はい} 1個が 入りました！ けれど、
まだ ^{よん} ^こ ^{のこ} 4個 残っています。2個目の ボールが
^{そとがわ} 外側の ふちに ^そ 沿って ^{ころ} 転がるように、
トーマスは ^{ちゅうい} ^{ぶか} ^{えん} 注意深く 円ばんを かたむけ
ました。2個目も ^に ^{こめ} ^{あな} ^{はい} 穴に 入りました。あと
^{さん} ^こ 3個です！

ところが ^{あと} ^{しっぱい} その後、失敗してしまいました！
^{えん} 円ばんを、^{すこ} ^{いきお} 少し 勢いよく かたむけすぎたのです。
また ^{さいしよ} ^{なお} 最初から やり直しです。



お父さんは トーマスの かたを ポンポンと
たたきました。「その 調子だ、トーマス。じきに
上手になるさ。」

トーマスの 決意が 固まりました。トーマスは
深く 息を すうと、また 始めました。最初の
1個が 入り、2個目も 入りました。ものすごく
集中して がんばった 結果、3個目、4個目と
入り、続いて 5個目も 入りました。

「お父さん、見て！ できたよ！ ボールが
全部、穴に入っただ！」

お父さんは 歓声を 上げて 手を たたきました。
「やったじゃないか！ きっと、できると 思って
いたよ。あきらめなくて、よかったなあ！」

トーマスは うなずきました。これからは、
新しい ことが 最初 むずかしくても、いつも
がんばり続けよう と思いました。

お
終わり

